学校番号	207

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文学国語	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	「文学国語」　（筑摩書房）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧改訂版(数研出版) 力をつけるシリーズ　文学読解 Plus						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・2 年生では、1 年生に引き続き社会人として必要となる国語の力の基礎を身につけながら、卒業後の進路を見据えた学習も行っていきます。
・話し合いや文章記述など、自ら学ぶための主体的な活動を取り入れた授業を行います。
・古今東西の名作との出会いを通して感性・想像力を磨くとともに、人生をより深く見つめる態度を養い、確かな読解力と豊かな鑑賞力を身につけてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・国語の知識や技能を正しく身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深めている。（知）
【思考力、判断力、表現力等】
・文章を読んで深く共感したり豊かに想像したりすることができ、創造的に考える力や他者との関わりの中で伝え合う力を用いて、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。（思）
【学びに向かう力、人間性等】
・言葉がもつ価値を深く認識し、読書に親しみ自己を向上させており、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持って、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を自ら身につけようとしている。（主）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解し、情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解し、文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現技法を、体系的に理解し使うことができる。 ・我が国の言語文化の特質について深く理解している。	・表現したいことを明確化し、文章の構成や展開を工夫して、文体の特徴や修辞の働きを考慮した上で、独創的な文章を書くことができる。 ・語り手の視点や場面設定、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈することができる。 ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察することができる。 ・作品が成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、作品の解釈を深めることができる。 ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方が深まった。	・国語に関する様々な知識・技能に目を向け、それらに対する関心を深めるとともに、表現の効果についての感覚を磨き、国語を尊重してその向上を図ろうとする。 ・単元ごとに自らの学習状況を振り返り、その後の学習に行かそうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	登場人物の人物像を表現に即して把握し、主人公の心情の変化と作品の主題について考える ［教材］ 阿部公房 「鞄」	a：情景や心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 読 ］：「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：鞄が登場人物にとってどのようなものか考察し、自分の意見をまとめようとしている。	定期テスト	ワークシート 定期テスト	授業態度 振り返りシート
	登場人物の心情を表現に即して把握し，主人公のおかれた状況、苦悩、作品の主題について考える ［教材］ 中島敦 「山月記」	a：物語の構成や、誰からの視点で描かれているかを的確に捉え、心情表現などの知識を得ようとしている。 b［ 読 ］：物語の中の人間関係や、心情把握に努め、それぞれの登場人物のものの見方、感じ方、考え方を捉えようとしている。注意深く文章を読み、作品の解釈を深めている。 c：・学習課題に沿って粘り強く考察し、積極的に主題に迫ろうとしている。 ・教材の内容に関心を持ち、読み深めようとしている。	定期テスト	ワークシート 定期テスト	授業態度 振り返りシート
	詩に込められた作者の思いについて考える。作者の生きた時代背景などについて知り、自らの考えを深める。 ［教材］ 茨木のり子 「空と風と星と詩」	a：詩独自の言葉の使い方や、描かれる情景について知識を得ようとしている。時代背景について知っていることを共有しようとしている。 b［ 読 ］：作者の視点や、言葉選びなどに着目し、表現の特色やメッセージ性について評価することを通して、内容を解釈している。 c：作者のほかの作品にも関心を持ち、読み比べるなどしている。	定期テスト	ワークシート 定期テスト	授業態度 振り返りシート
2	登場人物の心情を、場面ごとに的確に捉え、心情の機微や主題について考える。 ［教材］ 多和田葉子 「捨てない女」	a：情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b［ 読 ］：語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。 c：進んで作品内容を解釈し、それぞれの場面でのわたしの心情を把握し、自分がどう感じるかなどを共有しようとしている。	定期テスト	ワークシート 定期テスト	授業態度 振り返りシート
	随想の読解を通して、筆者の文筆業への思いや日々のコミュニケーションの大切さについて考える	a：文中におけるカタカナ語による表現の内容を理解し、その効果をとらえている。	定期テスト	ワークシート 定期テスト	授業態度 振り返りシート

	［教材］ 今福龍太 「バイリンガリズムの政治学」	b[読]:筆者の経験と現実の事象をどう関連させて捉えているかを理解しようとしている。 c:進んで随想の読解に取り組み、様々なスタイルの作品の鑑賞に取り組もうとしている。			
2	主人公の人物像や置かれた状況を表現に即して把握し、主人公の心情の変化と作品の主題について考える ［教材］ 太宰治 「水仙」	a:・情景を豊かに想像し、心情の機微を深く味わうことができる語彙力を身につけている。 ・極限状態に置かれた人々の心情や、様々なものの考え方について知る。 b[読]:文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。 c:主人公が「水仙の絵」を破った理由を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして文章にまとめようとしている。 ・作者や同時代の作家の作品について、読書や調べ学習をしている。	定期テスト	ワークシート 定期テスト	授業態度 振り返りシート
	独創的な詩を鑑賞し、発想の自由さと文学の在り方について考える。詩の鑑賞文から、詩人同士のつながりや関係性について知る。 ［教材］ 中原中也 「サーカス」 宮川賢治 「永訣の朝」	a:詩の鑑賞態度や、独創的な言葉選び、詩形に関心を持ち、知識を蓄えている。 b[読]:・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対する独創的なものの見方、感じ方、考え方を深めている。 ・詩人同士のつながりや、どのような思いのこもったメッセージであったかを深く考えている。 c:詩の解釈や友情について、自由な発想で感想を述べあうなど、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	定期テスト	ワークシート 定期テスト	授業態度 振り返りシート
3	文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察し、作品に込められた寓意を考える ［教材］ 目取真俊 「魂込め」	a:本作品についてその特徴や、込められた社会へのメッセージについて理解している。 b[読]:・作品に込められた寓意を根拠立てて読み取り、他者の意見も聞くことで解釈には多様性があることを理解している。 c:主体性をもって作品の主題に迫り、他者の意見についてもテクスト内に根拠を求めることができるかを粘り強く考察している。	定期テスト	ワークシート 定期テスト	授業態度 振り返りシート
	文学評論の読解に取り組み、既習の古文知識とともに、現代にも共通する言葉へのとらえ方について考察する。 ［教材］ 三島由紀夫 「小説とは何か」	a:身近にある言葉が様々な場面で役割を持つことを改めて考え、その効果について理解している。 b[書]:・作品の主題を主体的に掴み、それを自己に引きつけて考え、自分自身と向き合って作文(「言葉の力・役割」)を書いている。 c:本文に登場する詩や仮名序の解釈にも関心を持ち、作者のほかの作品についても調べるなどしている。	定期テスト	ワークシート 作文 定期テスト	授業態度 振り返りシート
3	語り手の視点や場面の設定、表現の特色を評価しながら内容を解釈する。 ［教材］ 村上春樹	a:「沈黙」がどのような意味を持つものであるかをさまざまに想像することによって、時に言葉にならない言葉が想像を豊かにする働きがあることを理解している。 b[書]:主人公の視点と、時間の経過を	定期テスト	ワークシート レポート 定期テスト	授業態度 振り返りシート

	「沈黙」	的確におさえたうえで、自身の考えたことや感じたことを文章で表現している。 c:ストーリー展開における象徴的な出来事の持つ意味を粘り強く考察し、自らの着眼点に基づいて作品論を書いている。			

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　15　）時間

・読むこと　…　（　55　）時間